



学校便り

No. 7

夢・挑戦

令和元年12月23日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

生徒も教師も「授業」が一番大切!!

期末テストが終わった12月初旬に、クラスマッチ形式で数学の基礎学力テストを実施しました。1年の内容で、正負の数、文字と式、1次方程式の6枚のプリントから1問2点の25問、50点満点で朝自習の時間にテストをしました。結果は、3年1組【1年サラ玉植え付け】が学級平均で1位となりました。



○第1学年平均 37.5点

○第2学年平均 39.0点

○第3学年平均 43.4点

1年生は、約3週間前に同様のテストを行っていました。以前と比べると、学年平均が何と7点アップしました。2年生は、3学年の中で満点者数が一番多く19名でした。3年生は、2学級男女ともに平均40点を超えるすばらしい結果でした。

実施後、再テスト1回、個別指導2回行い、数学教師であった私も、2名の数学の先生と分担して個別指導を行いました。【3年赤ちゃんふれあい教室】



私は毎日、授業中に校内を巡回して、生徒の授業の様子を見ています。個別指導の時、生徒は自分から声をかけて、わからないところを尋ねてきたり、終わった問題の採点をお願いしてきたりと、授業中よりとても意欲的でした。どの生徒からも勉強が「分かりたい」「できない」という気持ちを強く感じ、嬉しく、頼もしく思いました。

さて、学校生活の中で一番長い時間は「授業」です。先生方には、授業や教材教具の準備、教材研究、小テスト等の採点などに力を入れていただくよう願っています。

また、働き方改革の目的は、先生方が生徒と過ごす時間を確保するとともに、授業や授業準備に専念することです。生徒が楽しい学校生活を送るためには、「授業が分かり、できるようになること」です。先生方が授業に集中できる環境を整えていきたいと思えます。

部活動は「何のためにするのか」!!

長い2学期が終わろうとしています。部活動は3年生が引退し、7月から新チームがスタートし、どの部も試合出場人数ぎりぎり、とても心配していました。しかし、2学期に行われた郡市新人戦では、以下のとおり結果を残してくれました。

○9月野球部 準優勝

○11月男子バスケットボール部 優勝

○11月女子バスケットボール部 準優勝

○12月サッカー部 優勝

私もすべて応援に行きましたが、学校で見る姿とは違って、本気で、集中し、真剣に、あきらめず、そして一生懸命頑張っていました。まさしく学校教育目標「夢に向かって挑戦する生徒」の姿であり、楽しく、粘り強くプレイし、終わった後の笑顔と充実感が印象的でした（悔し涙もありましたが…）。

ところで、部活動で頑張っている1・2年生ですが、2学期残念なことに部活動と学校生活では違う姿の生徒もいました。具体的には、授業中の私語や態度が悪い、学校生活のルールが守れない、他人がいやがる言動をする、自分さえ良ければいいなど、先生から指導を受けている生徒を見かけました。

プロ野球楽天の野村元監督は著書の中で、「人間的成長なくして、技術の進歩なし」と述べられています。つまり、部活動で上手なりたければ、人間性を高めなければならないということです。

家を建てて10数年が経ちました。10月にはリビングのエアコンが冷えなくなりました。11月には20数年間洗濯乾燥用に使っていた除湿器の電源が入らなくなり購入しました。12月には給湯器が壊れお湯がでなくなり、また調子の悪かった温水洗浄便座も一緒に交換しました。不運は重なるもので、12月には私の人間ドックと乗用車の車検があり、金銭的には「泣き面に蜂」でした。人間が作った機械や電化製品などは、メンテナンスをしないと10年経った頃から故障するようになります。そう考えると、人間は100歳以上の方もおられ、すごいなと思います。機械は交換できますが、人間の体は交換できません。人間ドックでは、健康でいたければ体重を減らしなさいと言われました。出費に不健康、がつくりです。